

ゴミの分別を再確認しましょう **特集**

私たちの暮らしが豊かになる一方では、大量のゴミが排出され、その処理方法については、どの自治体においても大きな課題となっています。

本町においても、平成4年から資源ゴミ・粗大ゴミの分別収集に取り組み、平成7年にはリサイクルセンターが建設され、平成12年からはその他プラスチックについても分別収集を実施しており、再資源化の推進と減量化を進めてきました。

また、平成14年から西和一般廃棄物最終埋立処分場での処理となったことから、一層のゴミ分別の徹底と減量化を図るなか、処分場の延命に取り組んできました。

このようななか、再度ゴミの分別方法について確認するため、分別と収集方法についてお知らせいたします。

～ 3 R の再確認で “ごみの減” ～

まずは出すごみの減量化について考えてみましょう。ごみ減量の合言葉で「3 R」を耳にしたことがあると思います。もう一度3 Rを再確認し、実践しましょう。

step① Reduce (リデュース) ◆まずは【ごみを減らす】ことから！

身の回りの製品に使われる資源の量、暮らしの中から出るごみの量は今も増え続け、環境に大きな影響を与えています。私たちはたくさん買って、使い捨てにする、という生活を変えなくてはなりません。未来に豊かな自然環境を残すためにも「ほしいものを買う」から「必要なものを買う」という考え方に変えることが求められています。私たちが買い方や選び方を変えると、メーカーの製品の作り方や売り方も変わってきます。これからは、ごみを減らすためリサイクルしやすい社会をつくるために、次のようなことに気を付けましょう。

1. 「使いすて商品」「余計な包装をしている商品」は買わない。
2. 「長持ちする商品」を選んで買う。
3. 「何度も使ったり、何か別のことに使える商品」を選んで買う。
4. 出来るだけ修理して長く使う。
5. フリーマーケットなどでいらないものを交換しあう。
6. いらないものを自分で工夫してリサイクルしてみる。
7. ごみになる部分が少ない商品を選ぶ。



step② Reuse (リユース) ◆何度も使うようにする！

ごみを出さない工夫の2つ目は、何度も使うようにすることです。私たちは今まで「時間や手間を節約」するために、使い捨ての紙コップや、取り扱いの便利なペットボトルなどを買ったりもっと便利な電化製品へと買い替えてきました。

しかし、環境への影響を減らして、資源やエネルギーを節約するためには、物を大切にするとともに一度使ったものを何度も使うこと、そして使い回すことが大事。たとえばビール瓶、一升瓶などのリターナブル容器はリユースの代表です。

step③ Recycle (リサイクル) ◆再生して使う！

リサイクルは、ひとり一人の問題であるとともに、社会全体で協力して取り組む必要があります。ごみのリサイクルを上手に進めるためには、地域の人々、事業者、国、それぞれの役割をはっきりさせた社会のしくみが欠かせません。それとともにひとり一人がきちんと自分の役割を果たすことが大切です。

ごみのポイ捨て禁止！！

ごみはごみと呼びます。捨つても捨つてもなくならないごみ。しかし、拾い続けなければ、あっという間にごみの山が出来てしまいます。また、タバコのポイ捨てが多く見受けられます。住民みんなでポイ捨てをなくしきれいな町、住みよい町にしましょう。

分別と収集方法

分別と収集の方法を再確認し、間違えの無いようにしましょう。ごみの分別がキチンとされていない場合や出す日が違くと、近所に迷惑をかけてしまいます。

また、分別をすることで、埋め立てゴミの減量へとつながり、和寒町にあります最終埋立処分場（西和）の延命をはかることとなります。

生ごみ（月曜日・木曜日）

対象 家庭から出る生ごみ

出し方 指定の袋に入れ、名前を必ず記入する
水分を良く切る
生ごみ以外の物はいれない

注意 生ごみと一緒にラップやアルミ箔、タバコが混ざっています。十分注意して出してください。

埋立ごみ（水曜日）

対象 家庭から出る埋立ごみ

出し方 透明又は半透明の袋に入れ名前を書く
「せともの」などの割れやすい物や、割れてしまったものは、収集の時に危なくないようにダンボールに入れ「せともの」「割れ物」と明記して名前を書く
刃ものは刃の部分を新聞紙などで包んで出す

注意 ダンボールで出すときは必ず中身を明記してください。
明記していない場合は収集しません。

資源ごみ（金曜日）

対象 家庭から出る資源ごみ
缶、ビン、ペットボトル、紙製容器包装、新聞チラシ、雑誌、ダンボール、発砲スチロール、金物、廃食用油、衣類

出し方 透明又は半透明の袋に入れ名前を書く
缶、ビン、ペットボトルは中身をきれいにし出す
紙製容器包装は汚れを落として紙製容器包装で一つに縛るか、紙袋に入れ中身が出ないように縛って出す
新聞チラシ、雑紙はそれぞれひもで縛って出す
雑誌はのりづけの物と、ホッチキス止めの物に分けて、それぞれひもで縛って出す
ダンボールはたたんで、ひもで縛って出す
発砲スチロールは中を洗ってから、ひもで縛って出す
金物は袋に入れるか、一つに縛って出す
廃食用油は買った時の容器に入れて出す
衣類は袋に入れて出す

注意 缶、ビン、ペットボトルにたばこの吸い殻などを入れない
ペットボトルのふたはプラごみに出す

プラごみ（火曜日）

対象 家庭から出る容器包装プラスチックごみ
下記のマークがついているもの

出し方 汚れているものは、水洗い等で汚れを落とす
濡れているものは、良く乾かす
透明又は半透明の袋に入れて名前を書く

注意 色つきトレイはプラスチックごみに出す
プラスチックごみ以外は混ぜない

容器包装プラスチック
の識別マーク



PET
ペットボトル



アルミ
缶



スチール
缶



紙
紙製容器包装